

地域組織の確立で  
会員間の絆の促進を



第144号

発行日 2019年8月25日  
発行者 JAMシニアクラブ  
mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-5440-7388 fax03-5440-7389



JAMシニアアクリバ  
第3回幹事会  
2020年度定期総会への提出議案を確認  
組織拡大と田中ひさや政策実現に発言集中

7月23日、JAM本部会議室でシニアアクリバ第3回幹事会を開催した。主な協議事項は9月4日に開催する2020年度定期総会に提出する議案である2020年度活動方針の前回幹事会を受けた補強部分と予算、総会次第、議長団などを確認した。協議では参議院選挙投票直後でもあり田中ひさや政策実現活動結果に対する発言が集中した。

### 方針討議の組織拡大



大では6月30日現在の会員登録が7534人で前年比104人の減となり3年連続の減少となった。新潟で1単組シニアを組織化し20地方で85人の新加入を実現したが多くの物故者や退会者をカバーするには至らず8000

人台への回復を実現す

ることができなかつた。

ただ、今年度中に2地

方で各々1単組シニア

が加入する見通しであ

ることに加え、JAM

が2020・21年度

の運動方針で「全国1

05地協に役員OB会

を発足させる」ことを

岐

玉

埼

林

久詔

通信員

テー

マ

は

「

認

知

症

と

向

き

合

い

つ

」

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

玉

# 核兵器のない明るい未来へ 国連へ核兵器廃絶・平和の声を届けよう 退職者連合の目標150万筆 シニア会員1人あたり2人以上の署名にご協力を

## 1. 世界には1万4450発もの核爆弾が存在しています。

1996年、国際司法裁判所は、核兵器による威圧そして使用は国際法に違反すると、国際社会に核兵器廃絶を促しました。しかし、核軍縮と核拡散防止を進める国際的枠組みは拡大せず、世界には未だ1万4450発（2018年6月現在）も核爆弾が存在し、人類は核の脅威にさらされ続けています。

## 2. 「核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議」が5年に1度開催されています。

核兵器保有国への増加を防ぐことを目的にした条約には、1970年に発効し、「核兵器の不拡散」「核軍縮の促進」「原子力の平和利用」を3本柱とする核兵器不拡散条約（NPT）があります。この条約の運用状況を検討するため、1995年から5年に1度、ニューヨークの国連本部で開催されているのが「核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議」です。

## 3. 2020年「核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議」へ参加します。

連合は2004年10月、核兵器廃絶に長く取り組んできた2団体、原水禁（原水爆禁止日本国民会議）、KAKKIN（核兵器廃絶・平和建設国民会議）とともに、核兵器廃絶と世界の恒久平和実現に向け、平和運動を統一行動として展開しています。核兵器を保有する国の駐日大使館や総領事館に向けた、核兵器の削減・廃絶と核兵器開発の中止を訴える行動にも注力しています。

## 4. 2017年「核兵器禁止条約（TPNW）」が採択されました。

2017年7月7日、ニューヨーク国連本部で開催された「核兵器を禁止し完全廃棄に導く法的拘束力のある文書を交渉する国連会議」において核兵器そのものを禁止する条約、核兵器禁止条約（TPNW）が採択されました。第1条「核兵器の開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵、使用または使用の威嚇をしない」と明記する史上初の条約です。また第4条では、核兵器保有国が核兵器の検証を伴う不可逆的な除去を推進することで、条約に加盟できる方法につき定めています。発効要件国数は50とされています（第15条）。

## 5. 核兵器廃絶1000万署名を日本政府と国連に提出します。

2020年4月の核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議にあわせ、連合、原水禁、KAKKINは、核兵器廃絶を求める署名を国際連合事務総長と日本の内閣総理大臣宛に提出します。

### 署名要請文

- ①2020年核兵器不拡散条約（NPT）再検討会議で、核兵器廃絶への着実な道筋について合意すること。
- ②「核兵器禁止条約」について、日本政府は早急に批准するとともに、各政府はその発効をめざし、未来世代に対する役割を果たしていくこと。
- ③2025年までに世界中のあらゆる核兵器の廃絶を実現すること。

## 6. 連合は核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて平和4行動にとりくんでいます

米軍基地を多く抱え過度な負担を強いられている沖縄、世界で唯一の原爆が投下され、後遺症に苦しむ広島・長崎、領土を奪われ故郷を失った北方四島。この4つの地から、連合は平和であり続けることの大切さを訴え続けます。

## 7. ITUC（国際労働組合総連合）でも署名を受け付けています。

連合が加盟しているITUC（国際労働組合総連合）も全世界で署名キャンペーンを展開しています。

JAMシニアクラブのみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ、ノーモアビバクシャ。この訴えは  
核兵器廃絶と恒久平和を願つ被爆国の日本国民の心からの叫びです。1945  
年8月6日 原子爆弾が広島に投下され14万人の尊い命が奪われました。今も  
なお多くの被爆者が放射線障害に苦しんでいます。人類で初めて原爆が投下さ  
れた広島の地で、悲劇が2度と繰り返されないよう訴え続けなければなりません。  
ん。広島に続き8月9日、長崎にも原爆が投下され、7万4千人が恩途絶え  
7万5千余りが傷つき、今もなお多くの人が後遺症に苦しんでいます。長崎  
の地から平和への祈りを込め、2度と核兵器が使われないよう強く訴えていか  
なければなりません。